

本市における取り組みについて

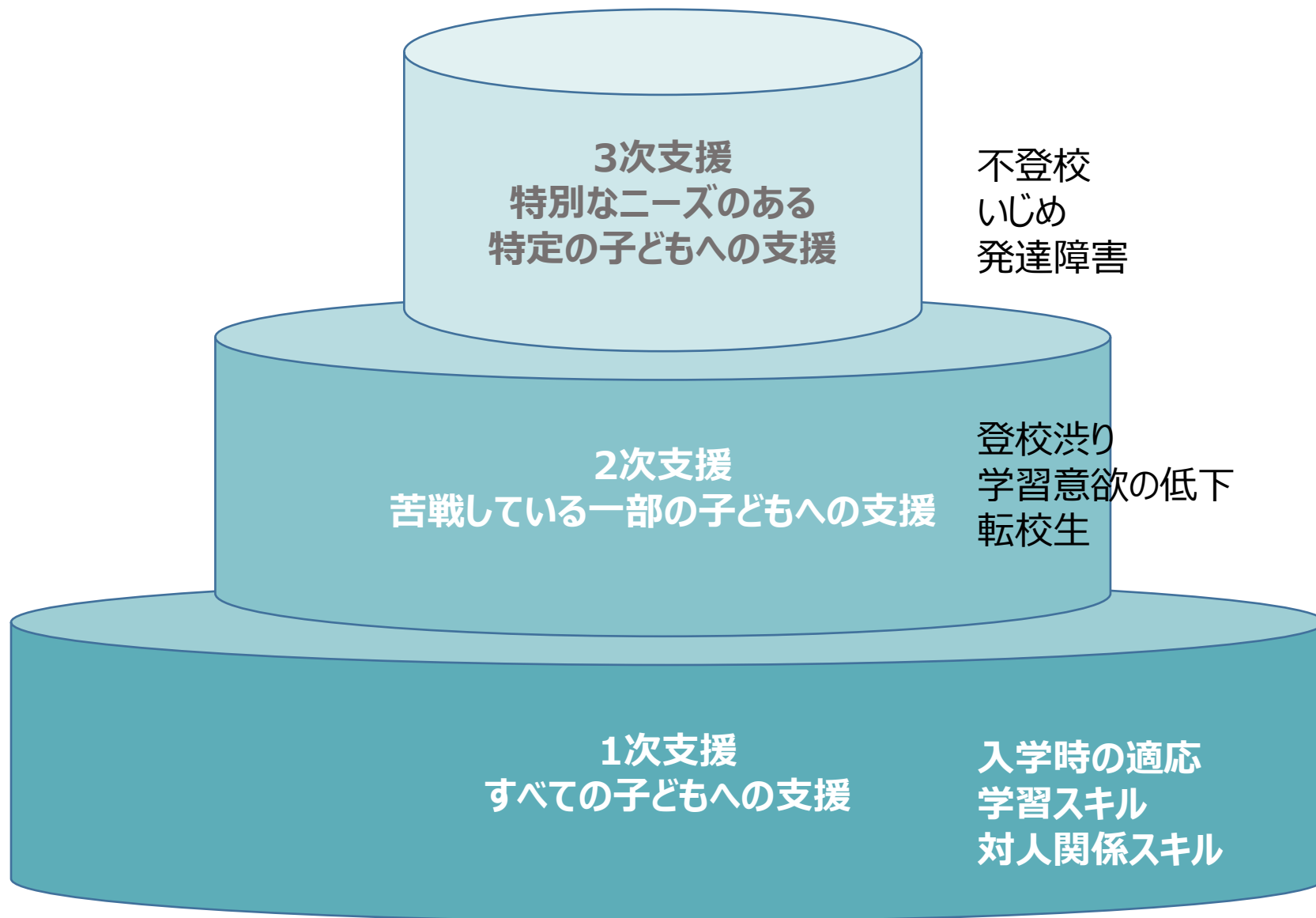
学校支援課

いじめ防止事業

「芦屋市立小学校におけるいじめ重大事態に関する調査報告書」 の調査結果を受けた再発防止策を受けて

- ① 弁護士によるいじめ防止に関する授業（小学校5.6年，中学校全校）
- ② いじめ対応ケース事例研修
- ③ アセス（学校適応感アンケート）（小学校4年年2回実施）
- ④ 教育相談コーディネーター養成のための研修
- ⑤ ピースサポーター派遣

3段階の支援 (石隈, 1999)



そのための施策として

のびのび学級
重大事態対応
SSW・SCの配置
顧問弁護士
教育相談コーディネーター養成・研修

サポートルーム・ピースサポーター全校配置
アセス
SSW・SCの配置
教育相談コーディネーター養成・研修

いじめ予防弁護士授業（5・6年 中学生）
生徒指導事例研修
（SSW・SCの配置）
教育相談コーディネーター養成・研修

① 弁護士によるいじめ防止に関する授業 (小学5.6年, 中学全学年)



真下真理子 弁護士

NPO法人

「ストップいじめ!ナビ」理事

身近な問題であるいじめを自分ごととして考える

「いじめ」となる行為

「いじめ」に直面した時の行動

5年生：**いじめの定義**を学ぶ
「CDが壊れた事例」

6年生：**いじめの4層構造**を学ぶ
「リレー」

中1生：**いじめの4層構造**の復習
「合唱コンクール」

中2.3生：**具体的な行動**を考える
「中立」



② いじめ対応ケース事例研修

- ・「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」に応じた対応が必要（令和6年8月改訂）
- ・法・基本方針及び調査の指針に基づく対応が必要
- ・いじめの問題に対する教職員の対応力の向上が必要

教職員の対応力の向上は継続的に必要

昨年度の研修例

- ・ **スクールカウンセラー**
思春期の子どもへの取り扱い説明書
- ・ **弁護士**
法に基づくいじめ未然防止
いじめ対応に係る事例検討
- ・ **大学教授**
発達の視点から組織的な事案対応
発達支持的生徒指導（社会性）
- ・ **不登校コーチング**
サポートルーム整備や不登校対応



③アセス（学校適応感アンケート）

生徒指導提要

（文部科学省，2022）

「指導や援助の在り方を教職員の価値観や信念から考えるのではなく、児童生徒理解（アセスメント）に基づいて考えること」

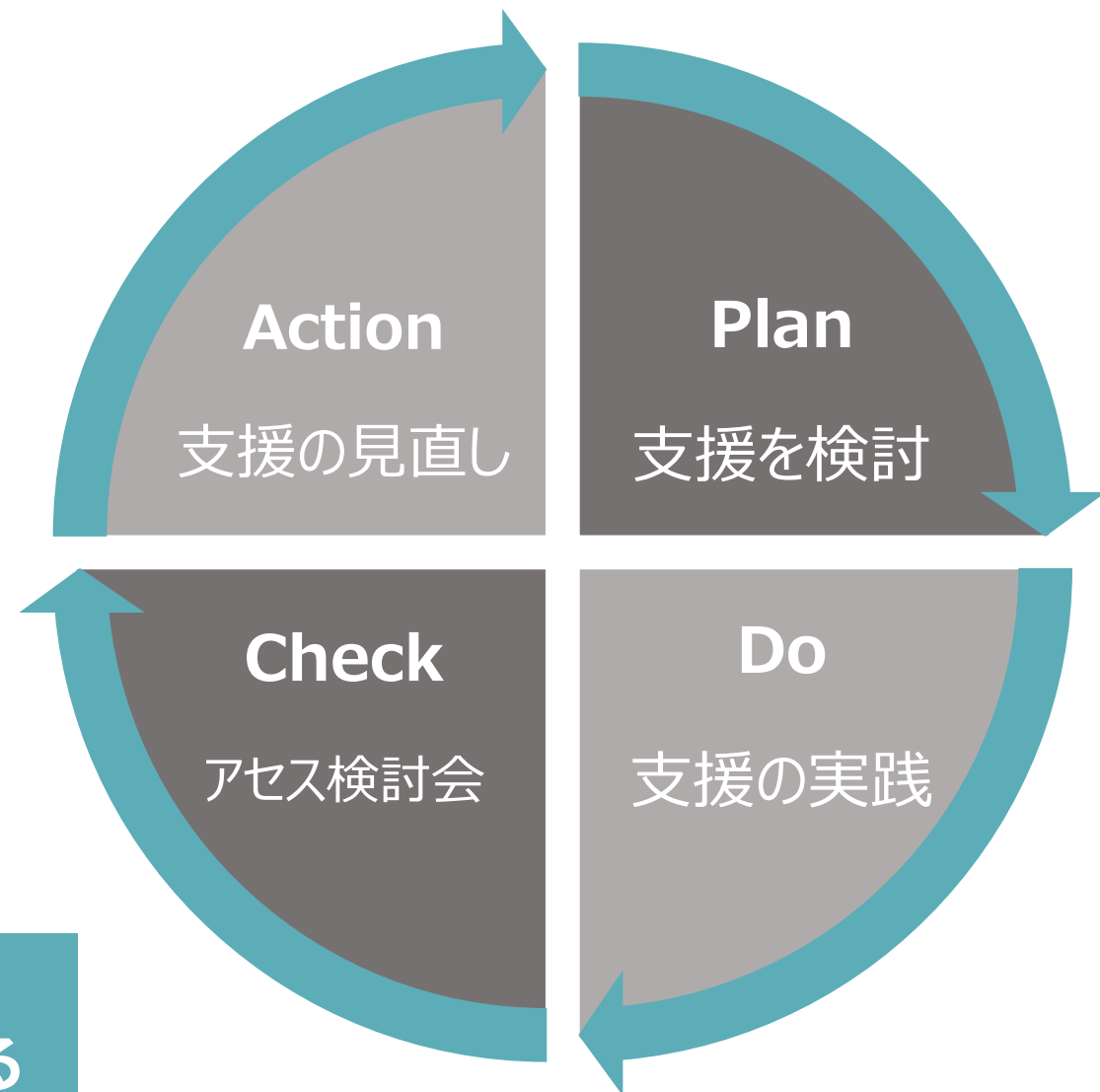
COCOROプラン

（文部科学省，2023）

「学校風土を見える化し、心の小さなSOSを見逃さず、チーム学校で支援する」



6月、11月のアセスを
児童理解と次の支援につなげる



③アセス検討会実施報告

成果

- ・見立てと数値の「ずれ」から、児童の小さなSOSに気付く
- ・複数の視点による、多面的な児童理解
- ・準要支援層を含めた、早期発見・早期支援
- ・具体的な支援方針・目標の共有
- ・次回のアセスで変化を確認する意識の向上
- ・担任の抱え込みを防ぎ、学年・学校で支える体制づくり
- ・一部の学校では、他学年の児童理解や支援にも活用

参加者

学年
管理職
教育相談
コーディネーター
指導主事

今後に向けて

- ・学校行事を見通した年間計画への位置付け(6月・11月の前)
- ・限られた時間で検討できる進め方の工夫
- ・教育相談コーディネーターを中心とした事前準備



④教育相談コーディネーターの3年間の取り組み

R 6 周知

- ・2校 先行位置付け
- ・伴走支援
- ・校長会・教頭会
担当者会での周知
- ・教育相談研修（全教員向け）
- ・アセス実施

R 7 位置づけ・養成

- ・全校位置付け
- ・養成・研修
- ・アセス検討会の実施
- ・振り返りの会（毎学期）

R 8 定着・発展

- ・研修システム
（基礎・実践・フォローアップ）
- ・交流会
- ・予防的支援

④教育相談コーディネーター養成のための研修

段階的な養成・研修

R6～7 ①基礎研修（夏季研修：全教職員対象）

- ・チーム支援組織対応
- ・発達支持的生徒指導（社会性と情動の学習）
- ・行動の背景を読み解く力を育てる

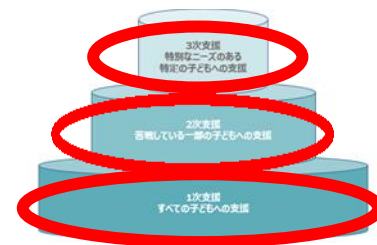
②実践研修（教育相談コーディネーター対象）

- ・チーム支援会議の進め方
- ・アセス活用のポイント
- ・予防先行的ないじめ対応
- ・子どもたちのSOSを支援にどうつながるか
- ・SC/SSWの力を活かすコーディネーション
- ・学校心理学を用いた校内支援体制づくり

R8

③発展・フォローアップ研修 （教育相談コーディネーター対象）

発展・フォローアップ研修（R8年夏）



④伴走支援（教育相談コーディネーター交流会）

⑤ピースサポーター派遣

R6：各中学校 に 1名 配置
小学校2校に 1名 配置

R7：各中学校 に 1名 配置
各小学校 に 1名 配置（3時間45分） 【拡充】

- ▶校内サポートルームの更なる充実
時間が拡充した小学校においてはこども達の居場所として発信
- ▶担任等とピースサポーターの連携
個別支援シートを基にした児童生徒の対応方針の共有等 【市内の先進的取り組み】
- ▶定例研修会の実施

学校支援課